

(様式第4号) 平成25年度(第3期)第6回上下水道審議会 会議概要

1	審議会名	上下水道審議会
2	日時	平成25年7月3日 午後2時から午後3時まで
3	会場	上田市浄水管理センター会議室
4	出席者	柄澤会長、臼井副会長、吉川委員、久保山委員、倉沢委員、児玉委員、小宮山委員、田畑委員、永井委員、長尾委員、松木委員、宮岸委員、村田委員、安井委員、横沢委員
5	市側出席者	大澤上下水道局長、西入経営管理課長、浅見サービス課長、竹花上水道課課長補佐兼施設整備係長、堀内下水道課長、金児浄水管理センター所長、滝沢丸子上下水道課長、佐藤真田上下水道課長、 (以下、経営管理課) 岩倉課長補佐兼庶務係長、杉山課長補佐兼経理担当係長、白鳥課長補佐兼経理担当係長、庶務係井澤
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	25年7月3日

協議事項等

1 新任委員紹介及び委嘱状交付

- ・ 今回の審議会から就任した委員（自治会連合会役員改選により就任）を紹介
- ・ 上下水道局長から委嘱状を交付

2 開会（会長）

3 会長あいさつ

会長： 毎年この時期に、新しい年度の予算概要の説明を受けている。本日は平成25年度の予算概要の説明を上下水道局から受けた後に、審議に入りたい。

自治会連合会からの推薦により、新しく委員になった方におかれては、審議会の主旨を理解いただいて、よろしくお願ひしたい。

4 上下水道局長あいさつ

上下水道局長： 上下水道事業は、市民生活や地域経済にとり一日たりとも欠くことのできないライフラインであり重要な事業である。しかしその経営環境については、長引く経済活動の低迷及びそれに伴う経費節減意識の高まり、さらには人口減少社会の到来により、今後も料金収入が減少していくことが予想される。

このような中で求められることは、事業の公共性と経済性の両立であり、市民負担の増大を抑制しつつ必要となる事業は着実に実施し、経営を持続していくことが重要と考えている。

5 議事

(1) 平成25年度当初予算概要について

- ・ 別添資料に基づき説明（説明者：経営管理課長）
- ・ 質疑応答は以下のとおり

委員： 農集排事業の収益的収支を見ると大きな赤字が計上されているが、赤字の状況は今後も続いていく見込みか。

経営管理課長： 当面赤字は続くが、借入金利息の減少により赤字幅は徐々に少なくなり、平成29年度前後には収支が均衡する見込みである。その後は黒字分により累積損失を埋めていく形になる。それと並行して農集排の公共下水道への統合を進め、処理費用は徐々に削減され、

収益構造は改善される見込みである。

委員： 農集排事業は小規模な施設が多いので、こういった形になると思われるが、各施設の地域的な状況を見るなかで公共下水道のつなぎこみを積極的に進めてほしい。

(2) 上下水道局重点目標について

- ・別添資料に基づき説明（説明者：経営管理課長）
- ・質疑内容は以下のとおり

委員： 小水力発電による発電分は内部で使用するのか、売電を考えているのか。

浄水管理センター所長： 自家消費と売電の両方を考えている。

委員： いわゆるアベノミクスにより市中にはお金が余っている状況と思うが、農集排事業の借入金の借り換えは考えているのか。

経営管理課長： 農集排事業の借入先は政府系機関であり、決められた期間・決められた利率で借りることが原則となっている。過去には、高利率の借入について繰り上げ返済を実施した経過がある。

(3) 次期審議会委員の選任について

経営管理課長： 今回で第3期目の審議会は最後となる。市の内規により、審議会委員の任期は原則として3期までである。これまで6年に渡り審議会員を務めていただいた3名の委員には心から感謝申し上げたい。現在、第4期目の委員の選任を進めている。この委員の中にも引き続き就任をお願いする場合もあると思うが、その際はどうかよろしく願いしたい。

6 その他

上下水道局長： 今回任期が終了する3名の委員には、平成18年3月に新上田市が発足して以来、3期6年にわたり委員として就任していただいた。この間、水道料金算定の諮問について2度ご審議いただき、その度ごとに大変な判断をしていただいた。

上下水道局としてもこれまで審議いただいた内容を大切に、これからの上下水道事業の経営に生かしていきたい。

7 閉会

*会議終了後、染屋浄水場を視察